

---

令和3年度 島根県立矢上高等学校  
「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（地域魅力化型）」 活動報告書

おおなん協育プロジェクト  
～邑南町総がかり！協働で育む“協育”カリキュラムの開発～

---



島根県立矢上高等学校

## 目次

活動報告書（2年目）の発行にあたって	2
本事業の概要	3
矢上高校と地域の未来をつくる会	4
I：総合的な探究の時間の改善	5
・総合的な探究の時間（1年）	6
・総合的な探究の時間（2年）	9
・総合的な学習の時間（3年）	16
II：教科横断型カリキュラムの拡大	17
・令和3年度に開発した教科横断型プログラム	
III：学校設定教科「起業探究」の実施	21
・令和3年度に実施した「起業探究」の取り組み内容	
イベント報告	24
・課題解決型学習発表会／令和3年12月21日（火）	
実施体制報告	25
・運営指導員会	
・コンソーシアム総会	
取り組み成果と次年度に向けて	28
新聞等掲載	31

## 活動報告書（2年目）の発刊にあたって

島根県立矢上高等学校 校長 志波 英樹

文部科学省「地域と協働による高等学校教育改革推進事業（地域魅力化型）」に本校が採択され2年となりました。本冊子はこの2年目の実践をまとめたものになります。令和3年度も新型コロナウイルスの流行が続き、地域に出かけ検証を行うフィールドワークや成果発表の場を兼ねた立命館大学への研修旅行も予定を変更せざるを得なくなりました。また本校の探究活動を広く知ってもらうことを目的として計画していたシンポジウムも中止となりました。しかし、そのような状況下でもICTを活用してこれまでと違う新しい形で活動を継続することができました。教員の会議や研修会だけでなく大学生との交流などもオンラインで実施しました。成果発表会もオンライン上で公開することで多くの方に参加していただくことができました。ICTを使った活動はもともと探究活動とも相性が良いことは感じていましたが、本校のような地方の山間地の学校にとって非常に便利で効果的なツールであることが分かりました。

本校の研究開発プロジェクト「おおなん協育プロジェクト～邑南町総がかり！協働で育む“協育”カリキュラムの開発～」は3つの柱から成っています。

- －Ⅰ：総合的な探究の時間の改善－
- －Ⅱ：教科横断カリキュラムの拡大－
- －Ⅲ：学校設定教科「起業探究」の実施－

その中でも令和3年度は、総合的な探究の時間において12組からなる協育パートナーを選定し生徒の探究活動に伴走していただき、これまで以上に地域の課題について掘り下げて研究するチームが増えました。その結果、課題研究発表会では、島根大学の作野先生から、「昨年度からの圧倒的な進化」という講評もいただき、次年度の展開に向けて手応えを新たにしたところです。

本事業は3年間の事業であるため、来年度が最終年度となります。来年度まず取り組みたいことは、組織的な推進体制の整備です。この2年間で「総合的な探究の時間」の授業の取り組みについて、探究担当の教員やコーディネーターなどの主担当者に負担が偏り、それ以外の教員の係わりが薄いという課題が見つかりました。来年度は多くの教員と総合的な探究の時間のビジョンを共有し、組織的な運営ができるような体制を整えていきます。また、教科の完成年度となる学校設定教科「起業探究」のさらなる充実と、コンピテンシーベースへの転換を図る必要のある教科横断型カリキュラムの整備は、最終年度の大きな課題の一つです。これらの取組を、事業終了後も成果を継続できるよう意識しながら進めていく必要があると感じています。

令和3年3月に「矢上高校と地域の未来をつくる会（コンソーシアム）」が発足し、地域住民や企業・団体、あるいは研究機関とのつながりを一層強めていく体制が整いつつあります。コンソーシアムの参加メンバーである島根県教育委員会、邑南町をはじめとする様々な機関・企業・団体から多大なご指導とご協力に対しまして、改めて感謝申し上げます。

最後になりますが、本報告書をご覧いただいた皆様からは、忌憚のないご意見・ご助言・ご指導をいただくことで、令和4年度の活動をさらに発展・充実させて行きたいと考えていることをお伝えし、巻頭のご挨拶とさせていただきます。

## 本事業の概要

### (1) 研究開発概要

“おおなん協育プロジェクト～邑南町総がかり！協働で育む“協育”カリキュラムの開発～“

本校普通科において、地域人材を育成するためには、地域に飛び込み、地域住民と関わる中で課題を見つけ、多様な人々と協働し、教科や地域の歴史や文化といった様々な知恵を結集させ、課題解決を実践するカリキュラムを作ることが重要である。令和2年度は、コロナ禍で当初予定の地域協働活動が行えなかったが、カリキュラム・教材開発や体制の整備を図り、実施の準備が整った。さらに、本事業コンソーシアムを包含する「矢上高校と地域の未来をつくる会（コンソーシアム）」を設立したところである。

令和3年度は、令和2年度に開発した教材や整備した体制を活用するとともに、ウィズコロナ時代を見据えて、Ⅰ「普通科総合的な探究の時間の改善」、Ⅱ「教科横断カリキュラムの拡大」、Ⅲ「学校設定教科『起業探究』の実施」を行い、邑南町総がかりで地域人材の育成を継続する仕組みの“検証期間”とする。さらに、掲げたⅠ・Ⅱ・Ⅲをコンソーシアムの協働活動として運営できるよう、体制強化を図る。

### (2) 目的・目標

本校のある邑南町は、中国山地の山間にある約1万人の町である。高齢化率は43%を超え、2040年消滅可能性都市に挙げられている。本校は邑南町唯一の高校として、これまでも地域を支える多くの人材を育成してきたが、町の人口減や高齢化が進む中で、地域を支えるだけでなく、地域の未来を担う人材の育成がさらに求められている。そこで、邑南町民・行政、本校産業技術科・大学等専門機関と協働し、総合的な探究の時間の再構築、教科横断型プログラムや学校設定教科の設置など、地域と生徒が協働で課題解決できるよう普通科のカリキュラムを整備し、地域の未来を担う人材を輩出することを本構想の目的とする。

### (3) 育みたい地域人材像 「ふるさとを思い 地域の未来をつくる人」

育みたい地域人材は、「ふるさとを思い 地域の未来をつくる人」である。邑南町で就職や起業することにより、地域の発展に貢献する人であり、邑南町外にいてもふるさとへの愛着を忘れず、関係人口として地域を支える人であり、そのどちらも邑南町を持続可能な町として、未来を作っていく人である。

《資質・能力》は次のとおりである。

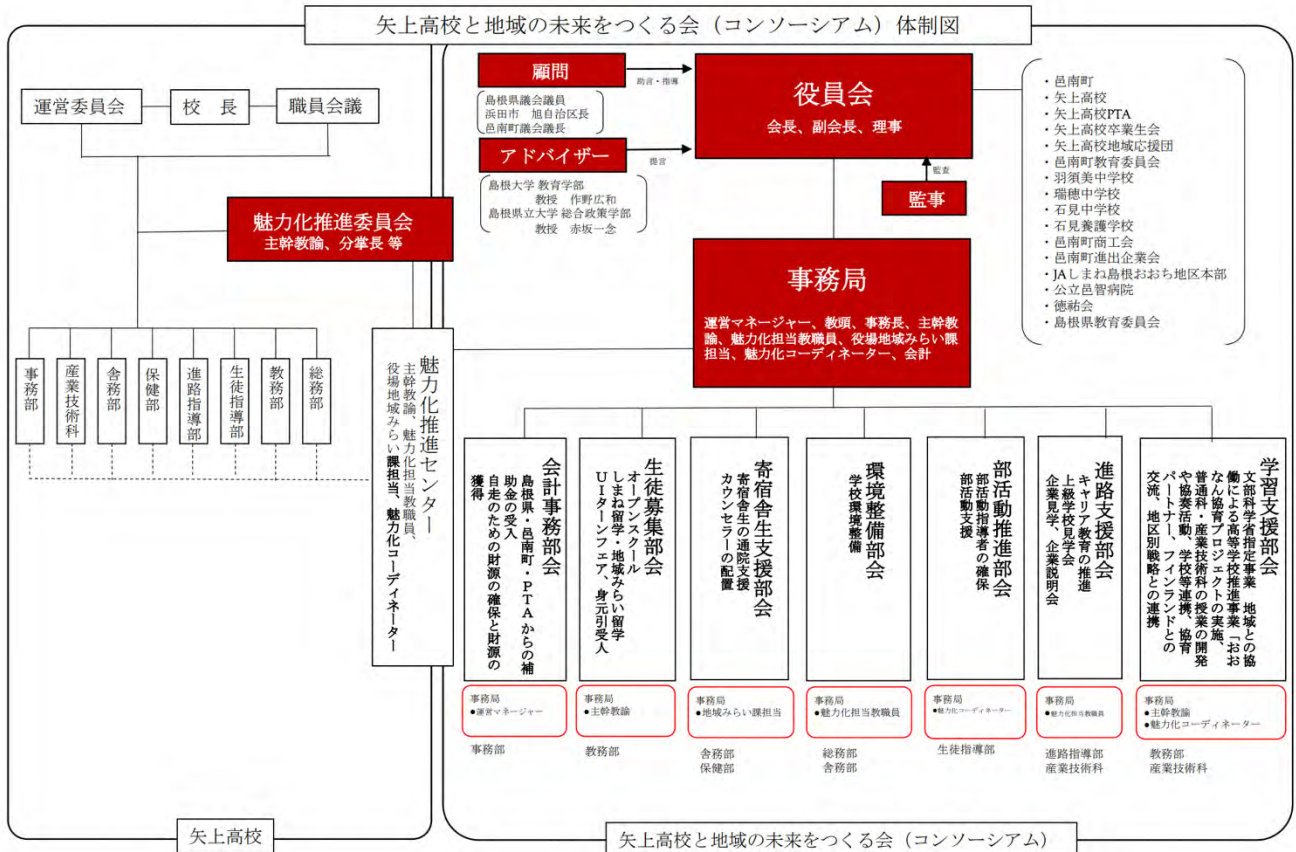
- 1：目標達成や課題解決の基盤となる学力や技能
- 2：地域の魅力や課題を発見し、目標達成や課題解決方法を探究する力
- 3：主体的かつ他者と協働する力

### (4) 令和3年度の実施内容

- Ⅰ：総合的な探究の時間の改善
- Ⅱ：教科横断カリキュラムの拡大
- Ⅲ：学校設定教科「起業探究」の実施

## 矢上高校と地域の未来をつくる会（コンソーシアム）

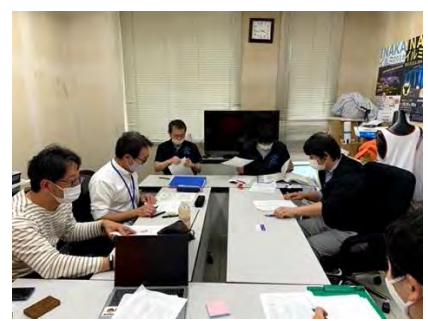
令和3年3月、矢上高校は本事業を総括する「矢上高校と地域の未来をつくる会（コンソーシアム）」を立ち上げた。部会は7つに分かれ、矢上高校の校務分掌と連携し、事業を進める。本事業は学習支援部会に位置付けられ、主幹教諭・魅力化コーディネーターを中心に学年部や地域を巻き込んでいる。



本事業の「地域課題解決型学習」は、邑南町地域みらい課が実施している「地区別戦略事業」と連携し、今後は、島根県立大学も加わり、3者での連携を行う予定である。



▲コンソーシアム役員会



▲探究学習について打ち合わせ

## I：総合的な探究の時間の改善

### 1. 普通科「総合的な探究の時間」基本情報

- ・単位：1単位（年間35時間）＊3学年（1年生：60名、2年生：60名、3年生：42名）
- ・実施：月曜日7時間目（15:20～16:10）
- ・担当：クラス担任 / 企画：魅力化推進センター

### 2. 総合的な探究の時間の構成

本校生徒が、3年卒業段階で、「ふるさとを思い、地域の未来をつくる人」として成長するため、1年次の目標を「地域と自身を知る」、2年次の目標を「地域課題解決を図る」、3年次の目標を「地域と自身の未来を考える」とした。

1年生は、3学期にコース選択（2・3年次は「総合コース」、「探究コース」に分かれるため）があり、納得のいくコース選択を図るために、自身の将来（少なくとも卒業時の状態について）を考え、決定しておく必要がある。そこで、1学期は、進路探究や地域での探究、どちらにおいても必要となる基礎的なスキルを習得することを目標とし、教科を横断するテーマをもとにした学際的な内容をもとに、探究スキルの活用場面を作った。2学期は、自身の進路について考えるため、地域の大人や卒業生へのインタビュー活動とそのまとめとして「おおなん暮らしナビ」という冊子を作る活動を行なった。3学期は2年次に地域探究を行うことを前提に、課題解決について考える時間を作った。

2年生は、コース問わず、全員が地域探究を行う。1学期にフィールドワークや地域の方々と関わり、課題の発見や魅力の再発見をし、それらを生かして地域での課題解決実践を行う。途中、立命館大学食マネジメント学部での研修旅行にて中間発表を行い、他視点からのフィードバックをさらに生かす。1～2学期にかけて行なった研究実践を、12月には普通科1年、2年を対象とした「課題解決型学習発表会」、1月には普通科・産業技術科の1～3年を対象（ただし、大学入試受験生は除く）とした「未来フォーラム」、2月には邑南町内の小学校、中学校、養護学校、町民を対象に学習発表を行う「おおなんドリーム学びのつどい」にて、研究内容を発表する機会を設けている。3学期には地域探究での学びを振り返り、自身の進路探究へ生かす。

3年生は、進路探究をより深め、地域探究や2年間の実績を、自己PRや志望動機等へ生かす機会を設けている。昨年度の反省から、3学期に行なっていた「はばたき講座」を1学期に時間を集約し、邑南町の公民館と連携し、U・Iターンした若者との対話の場を設け、邑南町の未来を作る人材とは何かを探究する機会とする。

# 1年生 総合的な探究の時間

## 1. 学習目標

「地域と自身を知る」

教科を横断するテーマ（学際科目）によって社会課題、地域課題や進路課題について考え、また地域人へインタビューならびにパンフレット作成を行うことで、地域への思いを醸成し、自身の進路と地域を考えることを目標としている。

## 2. 具体的な活動

### (1) 学際科目

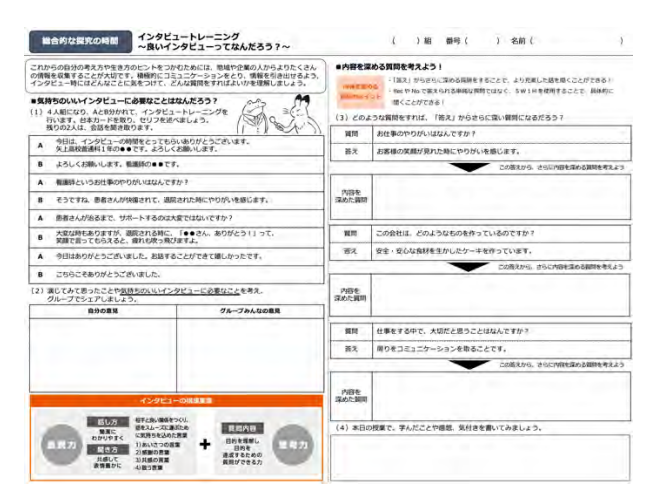
目的	① 教科と社会のつながりを意識し、社会課題について理解し、課題への向き合い方を理解する
内容	① 文化的衝突（宗教食） *今年度 ② パラリンピックレガシー *今年度 ③ タンパク質危機 *昨年度 ④ 労働と福祉 *昨年度 ⑤ カーボンニュートラル *今年度

\*内容は、「II：教科横断型カリキュラムの拡大」で詳しく掲載する

### (2) 「おおなん暮らしナビ」

目的	① 自身の進路決定の一助にする ② 地域で働く意義を理解する ③ インタビューするスキルを習得する
内容	① 進路についての考え方の共有 ② インタビュースキルトレーニング ③ インタビュー活動（18人） ④ インタビュー内容のまとめ

### ・教材



**総合的な探究の時間 インタビュートレーニング**  
～良いインタビューってなんだろう？～

このからの自分の考え方や考え方のヒントをつかむためには、現場や企業の人からよりたくさんのお話を聴くことが大切です。積極的にコミュニケーションをとり、情報を引き出すように、インタビューを通して自分たちの生活とつながり、自分自身を振り返りましょう。

**■気持ちの良いインタビューに必要なことはなんだろう？**

(1) 4人組になり、Aが問われて、インタビュートレーニングを行います。ほかの3人は、質問カードを聞いて、ヒントを添えてあげましょう。質問の人は、会話を続けられます。

① 毎日、インタビューの練習をぜひいい思い出に残してください。また、自分の練習を振り返りましょう。

② よろしくお話しします。敬語が◎です。

③ 服装や髪型、身だしなみは清潔にしてください。

④ 服装や髪型、身だしなみは清潔にしてください。また、自分の練習を振り返りましょう。

⑤ 毎日、インタビューの練習をぜひいい思い出に残してください。また、自分の練習を振り返りましょう。

(2) 書いてみて思ったことや、自分自身からインタビューに必要なことを考え、グループでシェアしましょう。

**インタビューの準備**

① 目的：何を伝えたいのか、何を聞きたいのかを明確にする。

② 質問：何を聞きたいのかを明確にする。

③ 準備：何を聞きたいのかを明確にする。

④ 実践：何を聞きたいのかを明確にする。

⑤ 振り返り：何を聞きたいのかを明確にする。

おおなん暮らしナビ 掲載記事作成ドキュメント

みなさんが取材したインタビュー内容を掲載できる形に記事を作成していきます。各グループで担当を決め、作成していきます。

インタビュー相手の所属先	
インタビュー相手のお名前	
記事作成者の名前	

③お仕事の内容

④質問と回答

\*次のように記入してください。  
\*回答は200～300文字でお願いたします。書いてくれたものをプロのデザイナーに頼んで雑誌を作りまします。編集によっては一部内容をカットする可能性もあります。

⑤) 優先順位：1位  
質問：どのようなお仕事をされていますか？  
回答：主に商品を仕入れて、販売を行なっています。工夫するところは、お客様が欲しいと思った商品をすぐに仕入れるということですね。地域に愛されるお店を目指しているので、地域のみなさんの声を大事に考えています。そこで、「欲しいものBOX」という取組を作っていて、いつもお客様の声を聞けるようになっています。お客さんから、「ありがとう、欲しいものが見つかったよ」と声をかけてくださるだけで、私も嬉しくなりますし、他のスタッフも喜んで仕事をしています。(213文字)

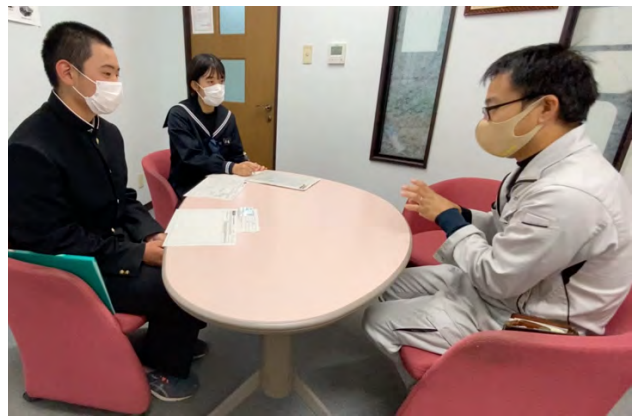
\* Google ドキュメントにてインタビュー内容と写真を提出

・インタビュー業種一覧（17 業種／18 名）

いずれも、邑南町在住もしくは矢上高校 OB として活躍されている方（関係人口）である。

自動車教習所教官	医師	首長	料理
自動車整備	薬剤師	配信・ストリーマー	製菓
鍼灸師	看護師	アーティスト	
老人介護	理学療法士	芸能人	
建設	教員	芸能事務所	

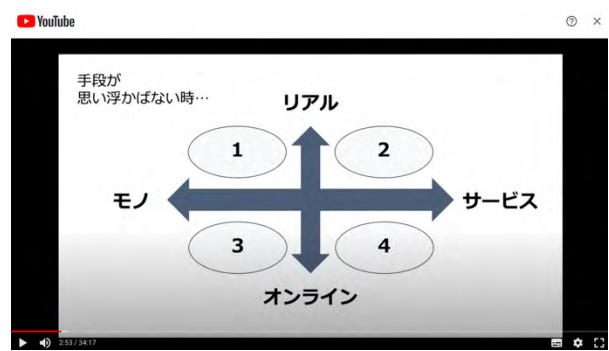
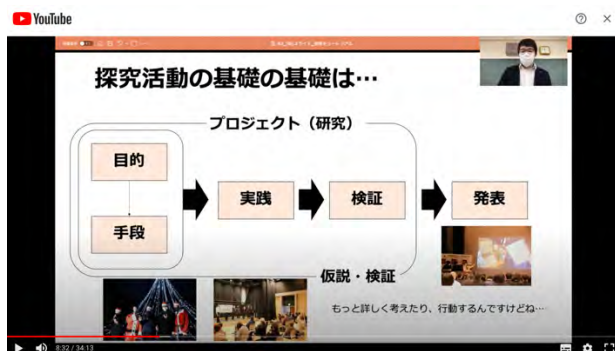
・インタビューの様子



(3) 探究チュートリアル

目的	① 探究活動に必要な、「手段」と「目的」について理解する
内容	① 課題解決型学習の進め方について理解する ② 手段と目的について考える

コロナ禍で、休校期間だったため、動画配信サイト上で事前に内容を収録し、Google Classroom を使って、課題に取り組んでもらった。





- (1) 矢上高校の入学者を増やす
- ノーアンスールに来てもらう人を増やす、学校の設備を新にする
  - 寮の定員を増やす、神楽愛好会も部活にする
  - 地元の人にもっと宣伝する、他の県の人にもしほ留学の宣伝をする
  - 産業技術科の宣伝をする、商品もオンラインショップで販売
  - 制服を多様化する、バスを増やす(おのまんバス)
- (2) 邑南町の高齢者を元気にする
- 子どもとシニアエーション活動をする、高校とかで交流会
  - 足踏が遠い人は直接お宅訪問交流、セラオケ大会(オンラインで)
  - 食べやすく栄養価の高い商品づくり、健康体操(?)をつくる
  - スマホ講座も高校生がする
- (3) コロナで荒んで邑南町に癒しを与える
- 医療従事者の方に感謝する機会をつくる  
↳ 4羽鶴を各公民館、学校、企業でつくる
  - 毎日鳴る12時と18時の町のチャムに皆いの言葉をつける
  - 町のおみやみ相談会をする、道の駅、馬のTOWNに高校生が来る
  - 町のマスクをつくって販売する、矢上高校でかわいい動物を飼う

- ① 邑南町全域で「電気自動車」を普及
- ・ 世界規模の電気自動車サミット (EC-FES) を誘致させる。
  - ・ 町営バスを電気あるいは、水素での運転。
  - ・ 充電スポットを公共施設に一個以上設備。
  - ・ 電動スクーターを促進。  
↓  
スクーター講習・スクーターサミットを開催

◀▲生徒が提出したワークシート

生徒からは、「動画の方がなんども見返しながら取り組めるので続けてほしい」との声をもらった。今回は、オンライン上でグループ活動をする事はなかったが、今後はJamboardなどを用いて、いつでもどこでも誰とでも探究活動ができる体制を構築する。

## 2年生 総合的な探究の時間

### 1. 学習目標

「地域課題解決を図る」

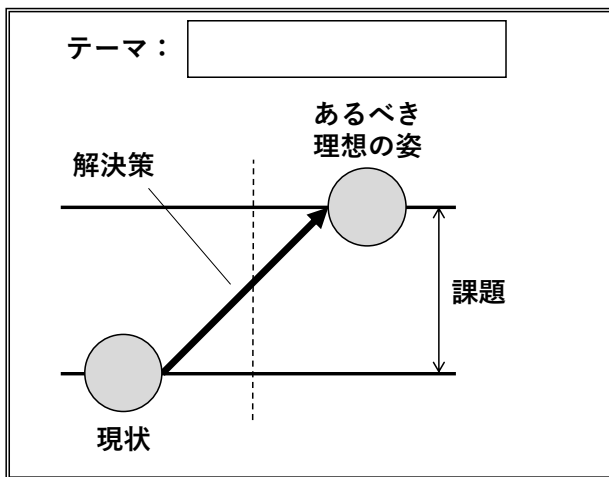
地域へのフィールドワークや地域の協力者（協育パートナー）による伴走により、地域課題を発見し、課題解決への仮説設定、実践による仮説検証、成果報告という一連の探究活動を経験し、地域課題解決の手法を習得する。

### 2. 具体的な活動

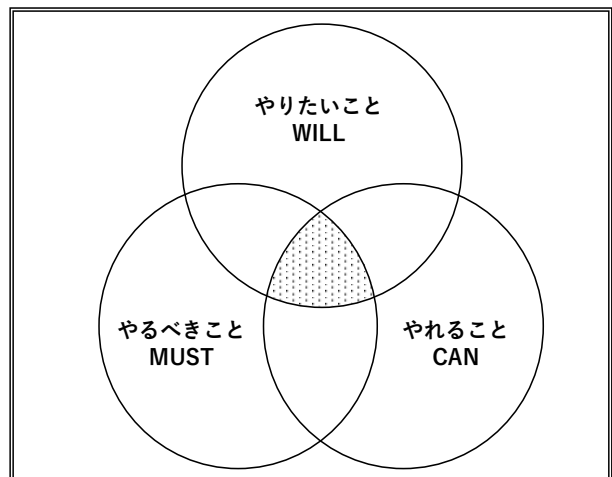
#### (1) 教材

昨年度の反省やカリキュラム開発専門家によるアドバイスを受け、研究手法を確立させることで伴走の質を一定にできると考え、探究活動で使用する思考フレームを次の2つに絞ることにした。

#### ■仮説立案フレーム



#### ■実践フレーム



課題解決における仮説立案に必要な要素として「テーマ・理想・現状・課題・解決策」の5点を挙げた。また、解決策の検討の際、提言で終わらず主体的に自身が関わることを目的とするため、「やりたいこと・やるべきこと・やれること」の3点を挙げ、生徒たちが地域と協働して課題解決できるフレームとして提示した。

総合的な探究の時間 4. フィールドワーク準備 ( )組 ( )名 ( )

地域・団体とマッチングを行いました。フィールドワーク前に必要なことを確認し、仮説を持って臨みます。必ずしも、20分～30分程度、1. 2分程度「実行」を行いますので、今のうちから考えたいものがあわせてください。

【1】フィールドワークのむら  
 ・地域・団体の「現状」や「課題」を前で見極める  
 ・地域・団体の「現状」を把握し、「解決策」について考える

【2】課題解決についての考え方～WILL・CAN・MUSTで考える～  
 自分たちが「やりたいこと(WILL)」であり、  
 自分たちが「やるべきこと(CAN)」であり、  
 地域や団体に必要ない、自分たちが「やれること(CAN)」であるか

解決策  
 現状

あるべき理想の姿  
 課題

やりたいこと WILL  
 やるべきこと MUST  
 やれること CAN

仮説立案フレーム  
 現状

実践フレーム  
 やりたいこと WILL  
 やるべきこと MUST  
 やれること CAN

仮説立案フレームは、この2つのためです。これらを実践する仮説を、地域・団体と一緒に考えたいと思います！

MEMO (裏面に、仮説立案シートあり)

解決策  
 現状

あるべき理想の姿  
 課題

やりたいこと WILL  
 やるべきこと MUST  
 やれること CAN

仮説立案フレーム  
 現状

実践フレーム  
 やりたいこと WILL  
 やるべきこと MUST  
 やれること CAN

仮説立案フレームは、この2つのためです。これらを実践する仮説を、地域・団体と一緒に考えたいと思います！

＜7月12日(月)5～7時間目(持ち帰り)＞  
 スマートフォン・写真・動画/録音機材等 (持ち帰り可、0855-95-1105)  
 バイナリー、本紙、フィールドノート(毎日配布)、筆記用具、体操服、ドリンク  
 上記を入れるナップザックがベスト



## (2) 地域とのワークショップ①

今年度から始まった「協育パートナー」と生徒との出会いの場として、ワークショップを実施した。協育パートナーの皆さんには、上記の仮説立案フレームに基づき、「地域の理想・現状・課題」についてプレゼンしていただいた。プレゼン後は、協育パートナーが移動しながら、生徒たちと対話する時間をとった。

・日時：令和3年6月7日（月）14:20-16:10 於：矢上高校体育館

・協育パートナー（12人・団体）一覧

協育パートナー	担当者（窓口）	協育パートナー	担当者（窓口）
出羽地区	和田康司	有限会社ディプロ	服部功
井原地区別戦略事業	藤井勇輝	邑南町商工会青年部	小泉篤
市木市プロジェクト	寺井弦	香木の森再生プロジェクト	和田恵子
日貫地区別戦略事業	徳田秀嗣	邑南町社会福祉協議会	日高千菜美
矢上地区別戦略事業	森上慶一	石見養護学校	石川圭司
地域団体たかはらんど	柘植賢志	島根県住みます芸人	奥村隼也

総合的な学習の時間 3. 地域と一緒にワークショップ ( ) 組 ( ) 番 ( ) 名前 ( )

【1】今日の学びと目標  
 地域・団体の方と一緒に話し合う (30分間) → ゴール: どの地域・団体と一緒に取り組みたいかを決める  
 ・自分の地域・団体のマテリアルを用意する

【2】求めたいスタンス  
 バランス感覚 | いっしょ感覚 | 正解を探さない  
 求めたいことではないから、無理に押しつけない。押しつけないで、自分たちが求めたいことを、自分たちが求めたいように伝える。自分たちが求めたいことを、自分たちが求めたいように伝える。

【3】地域・団体によるプレゼンテーション

地域・団体名	プレゼンター	テーマ
1 出羽地区	和田康司さん	イベント企画・運営
2 井原地区	藤井勇輝さん	山北川にある「アウトドア」
3 市木市プロジェクト	寺井弦さん	イベント企画・運営・音楽
4 日貫地区	徳田秀嗣さん	林業、林業史、伝統文化
5 矢上地区	森上慶一さん	まちづくり、未来の矢上地区
6 地域団体たかはらんど	柘植賢志さん	心の豊かさ、お祭りにくい生き方
7 有限会社ディプロ	服部功さん	石見パーク、観光開発、観光推進
8 島根県商工会青年部	小泉篤さん	若い世代の、楽しく活動
9 香木の森再生プロジェクト	和田恵子さん	観光、観光人口、観光、食、自然
10 邑南町社会福祉協議会	日高千菜美さん	地域活動の活性化、地域活動
11 石見養護学校	石川圭司先生	共生社会、学校関係
12 よしと住みます芸人	奥村隼也さん	エンターテインメント、笑劇

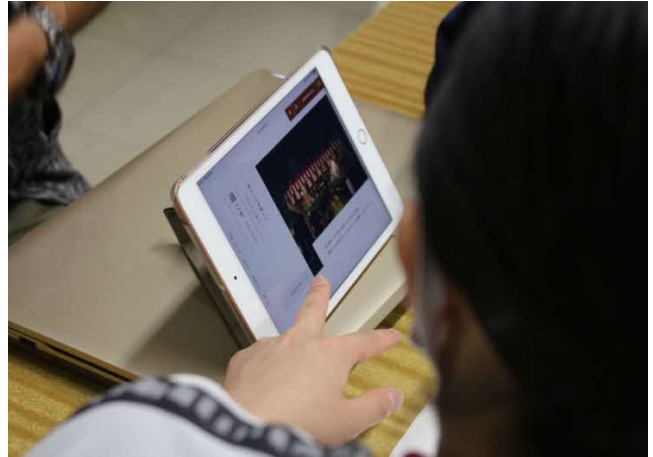
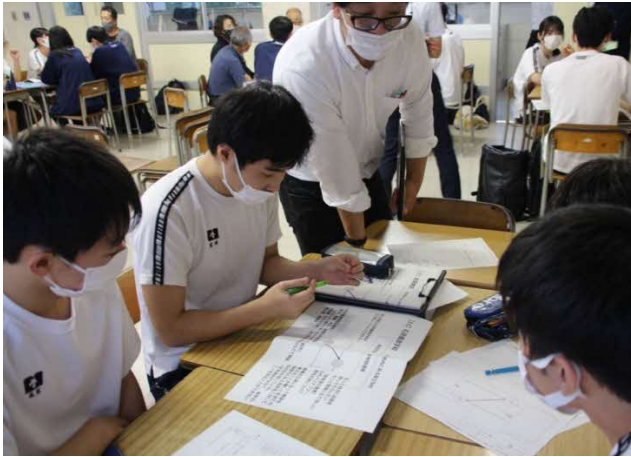


本授業終了後、各チームと協育パートナーとのマッチングをおこなった。

(3) 地域とのワークショップ②

マッチングした協育パートナーとフィールドワークを行い、仮説を組み立てる予定であったが、豪雨によってフィールドワークを中止し、教室内でワークをおこなった。急な対応にもかかわらず、協育パートナーに来校いただき、資料などを使いフィールドワークの予定を立てる時間とした。

・日時：令和3年7月12日（月）13:20-14:10 於：矢上高校（\*休校となったため、1時間で終了）



【説明用基本情報】  
 \*2004年（平成16年）に石見野・福寿町・羽後町が合併し、松江市が誕生しました。現在、人口は約20万人（人口密度は低人口密度）、面積は約2,000km<sup>2</sup>あり、中核都市の機能を果たしています。  
 \*鳥居地区までは、道の高いたたら製鉄が盛んに行われており、石見結城に広がる、歴史知識を伝える歴史館「鳥居（かんた） 高し」によって作られた人工的な土壌です（9世紀の残存の跡が確認できます）。  
 \*河川域可能性都市からの脱却を図るため、「A級ブルームの町」「日本一の子育て村」など、多くの施策を展開しており、地方活性化/地域活性化の町としても有名です。

※ざっくりとした石見・福寿・羽後地区と12公民館地区の位置関係

地区	どんなものがあるか（例）
井原*	そば、フルディックワーキング、資料の産
日置*	物産、日置食品、日置一橋、アルムゴ・ディファジ
日和	鳥の学校、日和織物、日置食品、そば、日和織物ミュージアム
や野	石見養護学校*、昭和織物店、宮つぼみショップ
矢上*	石木の森公園、やまざくらフェスティバル、観光協会
出羽*	青少年旅行村、かつばな織物、地域連携つばばな、バシ屋
赤木	赤木市*、福寿ハイランド、そば、ナニコレ亭鳥居
高瀬*	地域団体のたはらさん、タカハラアイス、肉を焼く会
田所	道の駅のみす、みずは養護、ハシザカ自然館、ヒストロよぐら
市原	鶴家の郷、長くつぷろ、赤紙の庵
河津町	三江線、NPO江ノ川流域、INAKA-イルミ
石見	三江線、NPO江ノ川流域、鶴、川島養護

\*をっけ地区の協育パートナーがいます。協育地域と繋がりのない場合は、ご遠慮ください。

#### (4) フィールドワーク

7月に実施する予定だったフィールドワークを実施した。地域の魅力や課題を肌で感じながら、協育パートナーらと仮説を立案した。

・日時：令和3年9月13日（月）13:20-16:10



### (5) 実践活動

フィールドワークを終えて、各地域や協育パートナーと課題解決のための実践をおこなった。時間がなく未実施に終わったチームもあるが、どのチームも自分達の手で実践しようとする主体的な姿勢を見せている。

協育パートナー	実践活動
出羽地区	11月14日(日)に空き家や使われていない場所を使ったイベント「出羽の未来大作戦のんびり憩いの場」企画運営、12月19日(日)第2回「出羽の未来大作戦」会議企画運営、SNSアカウント(@bachanchi)作成・発信
井原地区別戦略事業	SNSアカウント(@kumoinosato)作成、10月SNS講座の実施、SNS周知のための名刺カード作り。
市木市プロジェクト	10月3日(日)市木市イベント見学(試験期間中のため企画運営はできず)、市木市のためのパンフレット作成、市木の特産品キクイモを使った商品試作。
日貫地区別戦略事業	日貫半紙技術の復活のため、自分達で再生紙を使った紙漉きを実施。12月4日、5日には外部団体とコラボしたイベント実施。12月23日(木)校内1年生向けに紙漉き体験会を実施。SNSアカウント(@_hinui_hitohi_)作成・発信
矢上地区別戦略事業	10月9日(土)中学生向けの勉強会企画運営、12月11日(土)家族向けのデイキャンプ企画運営。
地域団体たかはらんど	高原地区のお米を使った商品(高原山地の味結び)の試作・開発。10月24日(日)瑞穂ハイランドイベント、11月23日(火)たかはら地区のお祭りで出店・販売。
有限会社ディプロ	町内商店、小中学校へ残食調査、寄宿舍の朝ご飯等の残食を減らすための取り組みの実施、昨年度同様カレー試作。
邑南町商工会青年部	町内各地区の情報について調査、11月13日(土)、オープンスクールにて県外の保護者や中学生向けにポスター作成、掲示。
香木の森再生プロジェクト	香木の森公園への観光客を増加させるため、12月12日(日)にイルミネーション設置、音楽ライブを企画運営。
邑南町社会福祉協議会	「高齢者と作って良し、食べて良し、売って良し」をキーワードに、高齢者と交流。お米を使ったせんべいの試作。
島根県立石見養護学校	石見養護学校が学んでいる防災の学びを活かし、家族全員で楽しめる防災ボードゲームを考案。
島根県住みます芸人	11月7日(日)、邑南町内で初のお笑いライブと高校神楽愛好会による神楽公演のイベントを企画、運営実施。







### 3年生 総合的な学習の時間

#### 1. 学習目標

「地域と自身の未来を考える」

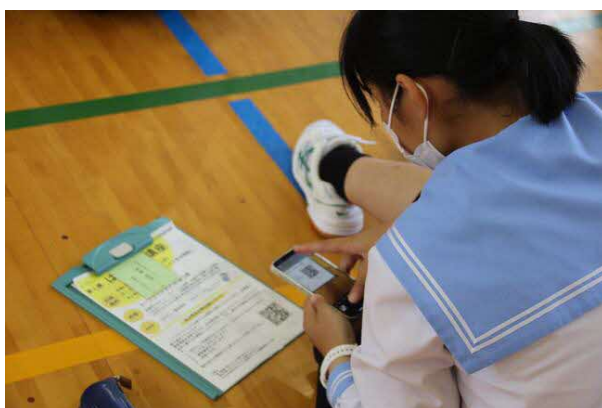
2年次に地域課題解決に臨み、地域の未来を考える一助となった。そこで、3年次には身近にいる「ふるさとを思い、地域の未来をつくる人」との対話や話を聞くことで、自身の未来と地域の未来を重ね、次の進路に生かすことを目標においた。

#### 2. 具体的な活動

(1) はばたき講座「若手U・Iターン者との対話」

- ・日時 令和3年7月19日(月) 10:40~12:30
- ・会場 矢上高校体育館
- ・U・Iターン者一覧

所属	名前	所属	名前
石見工業株式会社	小泉篤	しごとづくりセンターおおなんビズ	矢吹穰
エスマイル薬局邑南店	田形美佳	邑南町役場福祉課	河内洋子
池月酒造株式会社	末田麻里江	愛香園	河野真由美
浄土真宗本願寺派高善寺	武田正文	邑南町社会福祉協議会	日高拓真



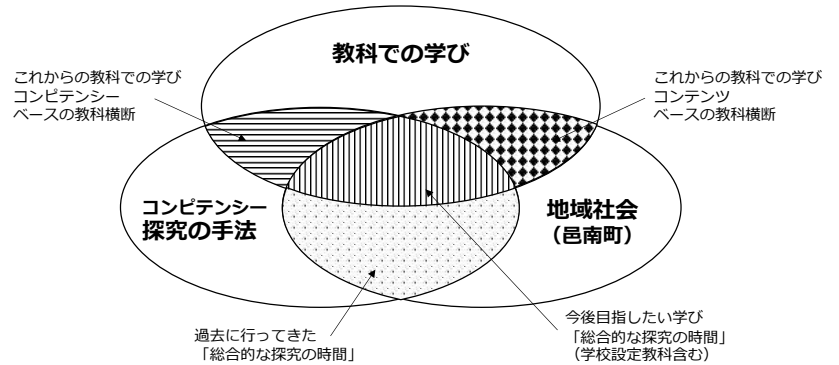
## II：教科横断型カリキュラムの開発

### 1. 本校の教科横断型カリキュラム

本校での教科横断型カリキュラムは、コンテンツベースの教科横断である。

これは、各教科で学んでいることが、相互に関わり合い、現実社会に繋がっていることを意識させる内容で、教科と探究をつなぐ内容を意識して制作した。

内容検討の際、右図の整理を行い、各教科同士で自由に活用できるものを意識した。

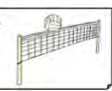


### 2. 令和3年度に実施した内容（一部、令和2年度に制作したものも含む）

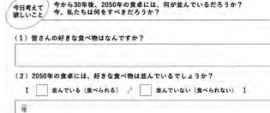
#### (1) 文化的衝突（宗教食）／日時：令和3年5月10日（月）

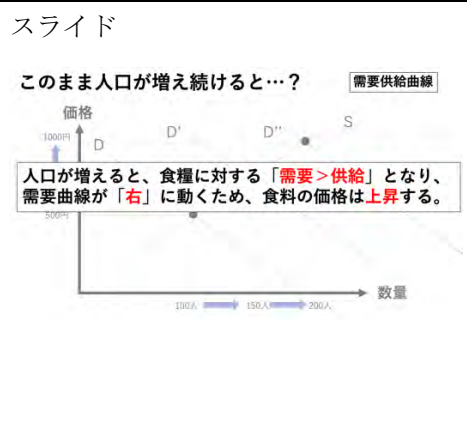
教科	英語＊福祉（家庭科）												
内容	英語の教科書では、他国の学校と日本の学校の違いに関する長文読解を行っている。また、島根県では出雲市にブラジルから多くの労働者が移住し、日本語が満足に話せない子供たちの対応が課題になっている。これらの事例にワークを行い、どのように考えるべきかを議論した。												
ワークシート	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>総合的な探究の時間</b> 学際科目「日本の常識、世界の非常識？」 ( )組 番号( ) 名前( )</p> <p>総合的な探究の時間では、知識を身につけるよりも、知識を活用する方法を学んでいきます。どんな課題に直面しなくても、「考える力」を学んでいきましょう。学際科目は、教科をまたぎ、皆さんの持つさまざまな知識や経験を活用して、答えのない問いについて考えることを目指します。</p> <p>(1) 日本と海外の学校の違いを確かめよう（英語の教科書を見てみよう）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">日本</th> <th style="text-align: center;">海外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>服装 Clothing</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>学校行事 Event</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>掃除 Cleaning</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【1】 次の記事を読んでみよう。</b></p> <p>人口減少が著しく若年労働者が減り、高齢化や人口減少の食い止めを図るため海外からの労働者が流入しているA町。その結果、A町の人口は増加し、高齢化や人口減少へ進止めをかけた。あなたは、そんなA町の学校の先生になりました。入学してくる子供たちの中には、キリスト教徒の子供たちやイスラム教徒の特徴である「ヒジャブ」を着用する子供もいます。</p> <p>ある日、イスラム教徒の保護者から、「イスラム教では、豚肉を食べるべきではないという戒律がある。アレルギー対応をしているように、給食では豚肉を使った料理を出さないでほしい。」との要望を受けました。</p> <p>日本国憲法上では、宗教の自由が保証されており、日本に住む外国人にも適用されています。持続可能な開発目標（SDGs）でも、多文化共生社会の実現が目標になっています。</p> <p>しかし、日本の食文化「豚汁」や「とんこつラーメン」などを提供できないことは、学校給食法にある「我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること」に反することにもなります。豚肉は牛肉よりも安く、服られた給食費の中ではよく使われ、子供たちに人気のポークカレーも出せなくなるのも、他の子供や保護者の反感を買ってしまうかも。</p> <p><b>【2】 本日の気づきを書いてみよう</b> (感想、感じたことなど自由に書いてください)</p> </div>		日本	海外	服装 Clothing			学校行事 Event			掃除 Cleaning		
	日本	海外											
服装 Clothing													
学校行事 Event													
掃除 Cleaning													

(2) パラリンピックレガシー（公平）／日時：令和3年6月14日（月）

<p>教科</p>	<p>体育*福祉（家庭科）</p>																				
<p>内容</p>	<p>オリンピック・パラリンピックについては、体育の単元で学習する。また、パラリンピック開催を直前に控え、予習として本授業を実施した。パラリンピックムーブメントを確認し、パラリンピックの意義や使命を理解してもらった。特に、パラリンピックの理念「公平」をテーマとして、足が不自由な方も楽しめるバレーのルールを考えるワークを行なった。</p>																				
<p>ワークシート</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>総合的な探究の時間</b> 学習科目「パラリンピックレガシー」 ( ) 組 番号 ( ) 名前 ( )</p> <p>東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催について、関心が高いと思います。皆さんは開催すべき、それとも中止すべきだと思いますか？さて、今回の学習科目のテーマは「パラリンピックレガシー」です。パラリンピックの価値を確認し、全ての人が楽しみ残さねないための考え方にについて学んでみましょう。</p> <p><b>【1】パラリンピックは何故行われるのだろうか？</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">自分の意見</th> <th style="width: 50%;">グループの意見</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="height: 40px;"></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【パラリンピックムーブメント】                  パラスポーツを通して発信される価値やその意義を通して世の中の人に気づきを与え、<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 15px;"></span> を作るための社会変革を起こそうとするあらゆる活動</p> <p>【パラリンピックの4つの価値】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">マイナスの感情に向き合い、乗り越えようと思える精神力</td> <td style="width: 25%;">困難があっても、諦めず努力を突破しようとする力</td> <td style="width: 25%;">人の心を揺さぶる、乗り越える力</td> <td style="width: 25%;">多様性を認め、前向きな姿勢で誰もが輝けるスタートラインに立てることを目指す力</td> </tr> </table> <p>【知っておきたい！障がい者スポーツ総合国際競技大会】                  サッカーではW杯、陸上では世界陸上のように、障がい者スポーツ総合国際競技大会は、パラリンピックだけではありません。障がいによって、参加できる大会が異なります。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">                 身体障がい                  聴覚障がい      肢体不自由、切断、筋性麻痺、視覚、等             </td> <td style="width: 50%; text-align: center;">                 知的障がい             </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">↓</td> <td style="text-align: center;">↓</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px;"></div> </td> <td style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px;"></div> </td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">※一部競技では、知的障がい者も対象</p> <p><b>(1) パラリンピックの価値「公平」を通して、より良い社会を考えよう。</b></p> <p>みなさんは、スポーツのルールを決めるルールブックのような存在です。ある時、足などに障がいのある人や車椅子の人から、バレーボールをしたいとの申し出をもらいました。パラリンピックの「公平」という価値に基づいて、ルール等を少し変更するなどの創意工夫を行い、障がいのある人も、そうでない人も、誰もが楽しめるバレーボールを考えましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">  </div> <p>【考えるポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バレーボールの勝敗は、どうしたら決着するのだろうか？</li> <li>足に障がいがある・ないの違いをなくすためにはどのようなルールにすればいいだろうか？</li> <li>（○○○したら加点/減点/反則 など）</li> <li>道具などはどんな工夫をしたらいいだろうか？</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">自分の意見</th> <th style="width: 50%;">グループの意見</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="height: 40px;"></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">&lt;参考&gt; シットティングバレーボール</p> <p>【前提】シットティングバレーボールは、足に障がいがあるという「バリア」によって、バレーボールを楽しめないという状況から生まれたスポーツです。スポーツだけではなく、暮らしの中にもバリアはあるかもしれません。では、身近な所には、どのようなバリアがあるだろうか？また、そのバリアに対して障がいがある人もない人も公平に楽しめるためには、どのような創意工夫ができるだろうか？</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">                 どのバリアがある？どんな困りごとがある？                  例) 目の不自由な方は、自動機でどこまで移動できるか？             </td> <td style="width: 50%;">                 どう工夫する？                  例) 目の不自由な方は、自動機でどこまで移動できるか？             </td> </tr> </table> <p>【障がい】に関する社会的な課題の中には凄惨な事件も起きています。前回実施した「宗教」や「LGBTQ」【差別】も同じような状況です。「自分の当たり前前提で当たり前でない人がいる」という前提に立ち、排除ではなく、包摂できる人になってもらえると嬉しいのです。</p> <p><b>【3】本日の気づきを書いてみよう</b> (理由、経緯、感じたことなど書き込んで書いてください)</p> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div> </div>	自分の意見	グループの意見			マイナスの感情に向き合い、乗り越えようと思える精神力	困難があっても、諦めず努力を突破しようとする力	人の心を揺さぶる、乗り越える力	多様性を認め、前向きな姿勢で誰もが輝けるスタートラインに立てることを目指す力	身体障がい 聴覚障がい      肢体不自由、切断、筋性麻痺、視覚、等	知的障がい	↓	↓	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px;"></div>	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px;"></div>	自分の意見	グループの意見			どのバリアがある？どんな困りごとがある？ 例) 目の不自由な方は、自動機でどこまで移動できるか？	どう工夫する？ 例) 目の不自由な方は、自動機でどこまで移動できるか？
自分の意見	グループの意見																				
マイナスの感情に向き合い、乗り越えようと思える精神力	困難があっても、諦めず努力を突破しようとする力	人の心を揺さぶる、乗り越える力	多様性を認め、前向きな姿勢で誰もが輝けるスタートラインに立てることを目指す力																		
身体障がい 聴覚障がい      肢体不自由、切断、筋性麻痺、視覚、等	知的障がい																				
↓	↓																				
<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px;"></div>	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px;"></div>																				
自分の意見	グループの意見																				
どのバリアがある？どんな困りごとがある？ 例) 目の不自由な方は、自動機でどこまで移動できるか？	どう工夫する？ 例) 目の不自由な方は、自動機でどこまで移動できるか？																				

(3) タンパク質危機／日時：令和3年12月17日（金）

<p>教科</p>	<p>保健*家庭*公民*理科（生物基礎）</p>
<p>内容</p>	<p>1年生の保健体育では、「食事と健康」の単元があり、家庭科の「調理実習」、生物基礎の「タンパク質」の単元を実施することが決まっている。2050年に起きるであろう「タンパク質危機（食糧危機）」をテーマに、公民の「市場（需要供給曲線）」の内容を合わせ、未来の食糧問題解決のため、今自分たちが何をすべきかについて考える機会となった。</p>
<p>ワークシート</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>発行時期: 2024年3月15日 &lt;家庭*保健*生物*公民&gt; 未来の食糧を考えよう!</p> <p>【学習目標】 食料の危機を、2050年の食糧には、何が起きているのだろうか？ 等、私たちは何をすべきだろうか？</p> <p>(1) 皆さんの好きな食べ物はなんですか？</p> <p>(2) 2050年の食糧には、好きな食べ物は足りているでしょうか？</p> <p>☐ 足りている (楽々) / ☐ 足りない (大変)</p> <p>(3) 2050年には、どんなことが起きているのでしょうか？</p> <div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;">  <p>2020年の世界の人口: 80億 2050年の世界の人口: 100億</p> </div> <div style="flex: 1;"> <p>【グループの意見】 大団円！未来の食糧はこうなる！</p> <p>(5) 私たちが、今できることをアポストしてみよう！</p> <p>☐ このよ様な未来になる前提で / ☐ このよ様な未来にさせないために</p> </div> </div> <p>●今日の授業の感想や意見、また、感じたことや学びを振り返り書いてください</p> <p>●【感想】を記入しよう！</p> <p>●今日の授業の感想や意見、また、感じたことや学びを振り返り書いてください</p> </div>



(4) カーボンニュートラル/日時：令和4年1月12日（水）

<p>教科</p>	<p>家庭*公民</p>	
<p>内容</p>	<p>ゼロカーボンシティ宣言を邑南町が宣言したことを受け、「持続可能な社会」という単元や「住まい」の単元がある家庭科や公民科で扱った。ゼロカーボンシティの意義を大学の先生から説明してもらい、これからの住まいはどうなるのか、そのために何をすべきかを考えるワークを行った。</p>	
<p>ワークシート</p>		

(5) 労働と福祉/日時：令和3年7月12日（月）→休校になり実施できず

<p>教科</p>	<p>家庭*公民</p>	
<p>内容</p>	<p>1年生の総合的な探究の時間では、2学期期間で「進路」に関する内容を扱っている。これまでの進路学習は、地域の大人たちによるキャリア講和がメインであったが、「労働の光と影」をテーマに、自身の生き方と、労働問題や社会保障との連携を図ることにした。どの生徒も既知であるイソップ童話「アリとキリギリス」を演じ、邑南町社会福祉協議会から現代の労働問題や社会保障の問題を説明してもらい、地域として、また自分たちがどのような課題解決ができるのかを考えてもらった。</p>	
<p>ワークシート</p>		<p>配役カード</p> 

### 3. 一年間の反省

前述の通り、本校ではコンテンツベースの教科横断を実施している。しかし、コンテンツベースの教科横断では、教材単位での学びはあるものの、年間での学びが不十分であるほか、興味関心が合致しない場合は主体的に学びに向かう姿勢が身につかない可能性が高い。

教科横断を行うのは、生徒一人一人の個別最適な学びを生み出し、教科で培ったコンピテンシーを他教科でも生かし、実社会に生かすことで、地域人材育成を図ることにある。よって、コンテンツベースの教科横断も行いつつ、今後はコンピテンシーベースの教科横断に切り替える必要がある。そのことによって、「地域探究の学びを教科で活かす、教科での学びを地域探究で活かす」という好循環が生まれると考える。

### Ⅲ：学校設定教科「起業探究」の実施

#### 1. 設定理由

本校普通科では、選択教科で商業科の「ビジネス基礎」等を実施していたが、選択者がより探究的かつ、即戦力として活躍できる資質・能力の向上を図るため、新たに学校設定教科「起業探究」を設置することにした。学校設定教科にすることで、起業ノウハウや知見の蓄積のみならず、総合的な探究の時間の内容の充実や担当教員の拡充などを期待できる。

#### 2. 学習目標

- ・地域人材、特に社会起業家として必要な力を身につけ、「稼ぐ力」や「課題解決力」を育成する。
- ・邑南町の起業家と出会い、邑南町の魅力と課題に気付き、地域とともに課題解決を実践する。
- ・邑南町や矢上高校の特徴である「農」を基軸に活動することで、暮らしや生きるために必要なものは何かを理解し、自分らしい生き方とは何かを理解できる。

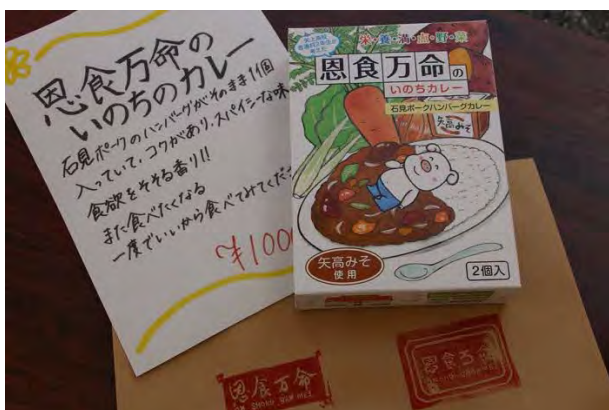
#### 3. 具体的な活動

##### (1) オリエンテーション



##### (2) 矢高ショップでの販売／日時：令和3年7月13日（火）

昨年度普通科の課題解決型学習で考案したフードロスカレーを販売した。矢高ショップは産業技術科の教育活動の一つではあり、初めて合同で実施し、普通科と産業技術科が合同で行った。



### (3) サツマイモ植付、収穫、加工

普通科ではあるが、校内の耕作放棄地を開墾し、サツマイモの植え付けを行った。収穫後は衛生管理について産業技術科の「食品製造」の内容を学び、サツマイモを使った商品を考案・試作した。

・植付/日時：令和3年7月13日（火）



・収穫/日時：令和3年10月7日（木）



・加工/日時：令和3年12月9日（木）



#### (4) 企業人による出張授業

毎学期、企業人による出張授業を行い、起業意識や意欲の向上を図っている。

- ・株式会社ぐるなび／日時：令和3年7月18日（木）



- ・島根県住みます芸人／日時：令和3年12月23日（木）



このほか、ビジネスプラン作成（ビジネスプランコンテストに応募）や高齢者向けの新しい商品開発アイデアなどに取り組んだ。

#### 4. 一年間の反省

年間通じて、起業家精神として最も重要である「とにかく、やってみる」精神育成のため、各学期でさまざまな企画を実施したが、新型コロナウイルス感染症まん延等でオンライン授業を余儀なくされるなどで、単発の授業が多くなってしまった。その結果、「総合的な探究の時間」に近い内容になってしまった。

次年度は、学期毎での内容を考えるのではなく、年間でのヤマ場を作るほか、既にプログラム化されている起業家育成の内容を入れながら、矢上高校独自の内容を精査していく。



## イベント報告

### (1) 普通科課題解決型学習発表会

- 日 時 令和3年12月21日(火) 10:40-16:10
- 会 場 矢上交流センター (オンラインにて視聴可能)
- 講 師 島根大学教育学部 作野広和教授 (カリキュラム開発専門家)
- 参加者 普通科1年(60名)、普通科2年(60名)、教職員(6名)、その他(30名)
- 日 程
  - 10:40 概要説明
  - 10:50-12:30 前半4チーム発表(各チーム10分発表+5分質疑)
  - 13:30-15:00 後半4チーム発表(各チーム10分発表+5分質疑)
  - 15:15-15:35 全体講評 島根大学教育学部 作野広和教授
- 発表タイトル
  - ・高原山地の味結び
  - ・市木市
  - ・香木の森活性化プロジェクト
  - ・持続可能な社会へ
  - ・2000年後の君へ
  - ・YAKAMI COES ON
  - ・YUKARI×矢上高校
  - ・作って元気、食べて元気、売って元気
  - ・フードロス
  - ・井原と共に
  - ・災害対策のすゝめ
  - ・出羽の未来大作戦



## 実施体制報告

### 1. 運営指導員会

#### (1) 構成員

##### 運営指導員

清國 祐二 (独立行政法人教職員支援機構つくば中央研修センターセンター長)

馬庭 寿美代 (島根県教育委員会 教育指導課 企画幹)

白石 絢也 (矢上高校と地域の未来をつくる会 (コンソーシアム) 運営マネージャー)

日高 輝和 (邑南町副町長)

##### 事務局

志波 英樹 (矢上高校校長)

山岡 二三男 (矢上高校主幹教諭)

小林 圭介 (矢上高校魅力化コーディネーター)

#### (2) 運営指導員会内容

##### ・第1回運営指導員会

○日 時 令和3年7月26日(月) 10:00~12:00

○会 場 矢上高校(オンライン)

○内 容

(1) 令和3年度事業計画について

(2) 1学期活動報告

(3) 協議等(質疑応答・意見交換)

##### ・第2回運営指導員会

○日 時 令和3年12月22日(水)

○会 場 矢上高校(オンライン)

○内 容

(1) 令和3年度2学期報告

(2) 振り返り(成果と課題)、次年度計画について

(3) 協議等(質疑応答・意見交換)

(4) その他

##### ・第3回運営指導員会

○日 時 令和4年3月16日(水) 16:30~18:00

○会 場 矢上高校(オンライン)

○内 容

(1) 令和3年度事業報告

(2) 振り返り(成果と課題)、次年度計画について

(3) 協議等(質疑応答・意見交換)

(4) その他

## 2. 矢上高校と地域の未来をつくる会（コンソーシアム）総会

### （1）構成員

役員	
石橋 良治（邑南町長）	樽田 真治（邑南町立石見中学校 校長）
神田 恵介（矢上高校卒業生会 会長）	小泉 賢咲（邑南町商工会 副会長）
志波 英樹（矢上高校 校長）	小畑 猛（邑南町進出企業会 会長）
森口 英司（矢上高校 PTA 会長）	小泉 篤（矢上高校地域応援団 委員長）
土居 達也（邑南町教育委員会 教育長）	日高 光弘（JA しまね島根おおち地区本部 本部長）
中村 厚子（石見養護学校 校長）	日高 武英（公立邑智病院 副院長・事務部長）
竹下 和宏（邑南町立羽須美中学校 校長）	三上 厳信（徳祐会 理事長）
永岡 靖（邑南町立瑞穂中学校 校長）	馬庭 寿美代（島根県教育委員会教育指導課 企画幹）
監査	
森脇 義博（邑南町監査委員）	
宮田 博（邑南町監査委員）	
顧問	アドバイザー
福井 竜夫（島根県議会議員）	作野 広和（島根大学教育学部教授）
西川 修二（浜田市役所 旭支所長）	赤坂 一念（島根県立大学総合政策学部教授）
石橋 純二（邑南町議会議長）	
事務局	
奈良井 瑞恵（矢上高校教頭）	田村 哲（邑南町地域みらい課 課長）
吉田 健一（矢上高校事務長）	田村 成生（邑南町地域みらい課）
山岡 二三男（矢上高校主幹教諭）	白石 絢也（コンソーシアム運営マネージャー）
川本 直子（矢上高校 教諭）	鎌田 真未子（矢上高校魅力化コーディネーター）
仁宮 康介（矢上高校 教諭）	小林 圭介（矢上高校魅力化コーディネーター）

### （2）コンソーシアム総会内容

#### ・第1回コンソーシアム総会

○日 時 令和3年5月31日（月）
○会 場 中野公民館
○内 容
（1）令和3年度事業計画
（2）質疑応答・意見交換
（3）その他

#### ・第2回コンソーシアム総会

○日 時 令和3年10月8日（金）
○会 場 矢上交流センター
○内 容
（1）令和3年度事業中間報告

(2) 令和4年度事業計画案

(3) 質疑応答・意見交換

・第3回コンソーシアム総会

○日 時 令和4年2月25日(金)

○会 場 矢上高校視聴覚室・オンライン

○内 容

(1) 令和3年度事業年間報告

(2) 令和4年度事業計画

(3) 質疑応答・意見交換

## 取り組み成果と次年度に向けて

### 1. 取り組み成果

指標	項目	目標	結果
成果目標 (高校魅力化 評価システム) * 12月実施	“地域の課題の解決方法について考える”生徒の割合	55%	81%*1
	“将来、自分のいま住んでいる地域で働きたいと思う”生徒の割合	45%	47.2%*1
	“地域社会などでボランティア活動に参加した”生徒の割合	40%	50%*2
高校の 活動指標 * 3月時点	研究授業等の回数	6回	1回
	普及・促進のためのワークショップやシンポジウムの開催回数	2回	2回
	協育プログラム教材の制作及びその公開単元数	4本	5本
地域の 活動指標 * 3月時点	地域による授業の実施回数（地域でのフィールドワーク含む）	8回	20回
	運営指導員会やカリキュラム開発、 コンソーシアム構築・運営のための会議回数	9回	9回

\*1) 普通科2年生に焦点を当てて実施。

\*2) 普通科2年生に焦点を当てて実施。探究活動が土日に多く、それらをボランティアと考えた生徒が返答した可能性が高い。

#### ◆成果目標（生徒の変容）

島根県の「高校魅力化評価システム」によって評価する。高校2年生に焦点を絞ってアンケートを実施した結果、全ての項目で目標値を上回った。

#### ◆高校の活動指標

新型コロナウイルス感染症まん延防止や休校措置等によって、研究授業、発表会やシンポジウムの開催を中止・延期となり、目標値達成ができなかった。協育パートナーへの研修会（ワークショップ）を実施し、目合わせをすることができたが、定期的な情報交換を行う必要があると考える。

#### ◆地域の活動指標

協育パートナー制度のおかげで昨年以上に地域による授業の実施回数が増え、目標値より倍以上に増加した。地域との協働活動が多い10月～12月は新型コロナウイルス感染症のまん延が抑えられていたことで、協育パートナーが校内に来て伴走する姿も多くあった。

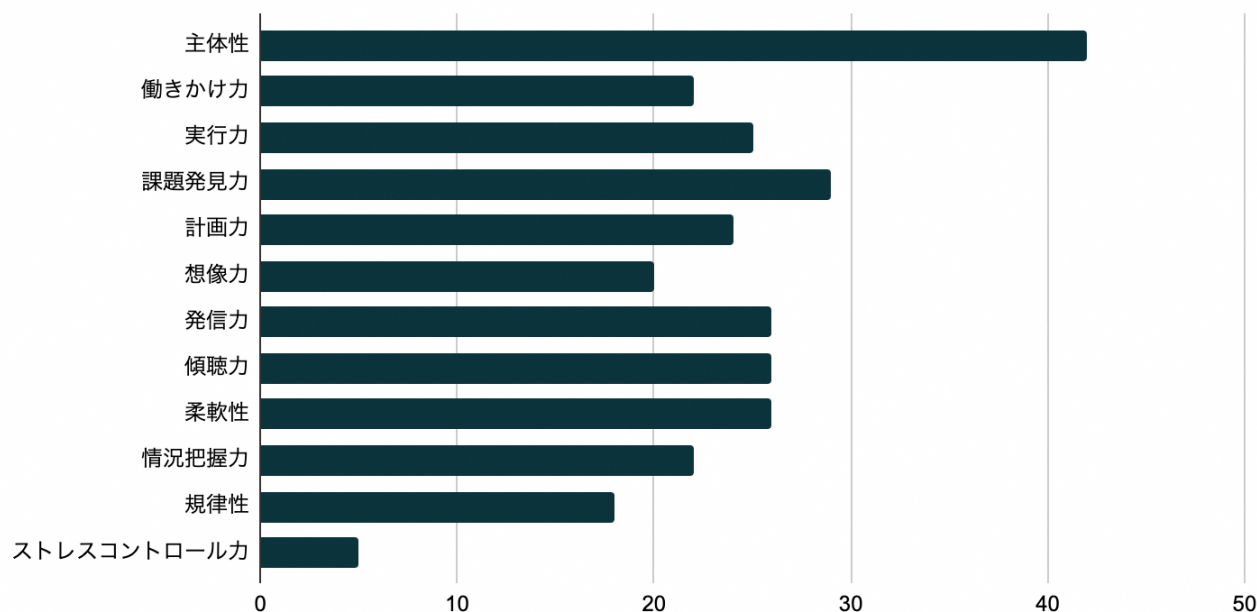
#### ◆総括

「高校の活動指標」が目標値を達成できなかったにもかかわらず、「成果目標」が達成できたのは、「地域の活動」によるものが大きい。特に、各チームに一人協育パートナーに伴走してもらい、地域課題やフィールドワーク、地域での実践などの場で生徒たちと共に活動を促進してもらったことが、“地域の課題の解決方法について考える”生徒が多くなった要因だと考える。

次年度以降も「協育パートナー」との関係性を深めると共に、高校の活動指標の目標増加に努めたい。

## 2. 生徒へのアンケート結果

○探究学習の活動（5月～12月）を通じて、どのような力が身についたと思いますか（社会人基礎力）



（生徒の意見を抜粋）

身についたと思う力	発揮された場面やそう思う理由
想像力	何をどのようにしたらどうなるかということをひとつひとつ皆で考えて行くことが意外と難しかったし、そういうことを考える場面がたくさんあったので論理的思考が高まったと思う。
主体性	「やってみないとわからない」という考え方を念頭に置いてまずはやってみることを意識して取り組みました。そのことによって実行力やともにやっていく仲間に働きかける働きかけ力などの意識して身についた力や、自然に身についた力この二つが特に身についた力だと思います。
実行力	実際に出羽でイベントを三ヶ所に別れて行った時にお茶を出したり、スライドを説明したり、地元のを販売したりした時。
課題発見	始めの方の授業で課題を見つけ出す時に目に見えてわかる数字上でしかわからない課題ではなく、自分達が目で見て肌で感じて自分たち以外の人の意見を聞くことでわかる課題を見つけることができた時。
規律性	公民館など地域の協力の上に成り立っている活動だったので、伝えられた期限に何とか間に合わせようとしたり、報連相が大切だったりする場面が多かったから。
主体性	日貫のことを自分から調べたり、その地域の特産品や人口など現在の課題などやイベントでの活動など自分から行動できたから。
実行力	企画をいざ実行に移そうとするとき、とてつもないエネルギー量が必要だった。活動中に班のメンバーとのコミュニケーションをとっていると、みんな考えは持っていたし、自分が思いつかない発想・知識もあった。でも、実行力が

	なければそれはアイデアのまま実現性はない。アイデアはみんな持っているからこそ実行力が必要だと思った。悩むより GO。JUST DO IT がいかに大切を痛感した。
傾聴力	SNS 講座を行った時 SNS に対しての考え方を聞いている時。
主体性	課題発見から課題解決に向けた具体的策を講じるまでの全体を通して積極的に意見を出したり計画に取り組んだ。
働きかけ力	リーダーとして先頭に立つのではなく、なかなか行動できない子に話を聞いたり、全体を見て客観的に意見を言えたりしたから。
実行力	私たちは、さまざまなイベントを行う上で計画をして、実行するということがとても重要でした。私が特に身についたなと思う瞬間は、再生紙作りの時です。上手くいかないことがほとんどだったけど、とりあえず実行する。ということをした結果、上手くいったと思います。
状況把握力	自分達がどういったことをしたいのか、するべきなのかを考えながら取り組むことができた。

生徒の意見では「実行力」や「傾聴力」「規律性」を挙げる生徒もいる。これは、地域との関わりの中で、協育パートナーと共に実行し、人を巻き込むことへの達成感を感じたことや普段なかなか関わりのない地域の人たちの話を聞く機会があったこと、さらに「新型コロナウイルス感染症」という状況の中で、感染症対策を講じる必要性があったことが要因であったと考える。

## 2. 次年度に向けて

### ○総合的な探究の時間

この2年間で、本校における地域との協働した探究のあり方を模索し、探究サイクルを体系化したところである。本事業終了後も、特定の教員ではなく誰もが地域探究活動に取り組めるよう、本校の総合的な探究の時間の教科書の整備（更新）や校内の担当教員の育成、地域指導者（協育パートナー）の確保や研修を実施し、地域課題解決型学習の質の担保や向上を図る。

### ○教科横断型カリキュラム

この2年間、コンテンツ・ベースでの教科横断型授業を数回試行した。今後、こうした授業を一層推進するため、教材の確保はもちろん、教科横断の意義を教員に浸透させ、教科連携を促す必要がある。そこで、これまで作り上げた授業内容等を活用するとともに、年間指導計画に基づくコンピテンシー・ベースのカリキュラムマップを作成し、総合的な探究の時間を基軸とした教科連携を図って教科横断が浸透する土台を構築する。

### ○学校設定教科「起業探究」

学校設定教科実施2年目となるため、引き続き『起業探究Ⅰ』を実施し、新たに『起業探究Ⅱ』を実施する。『起業探究Ⅱ』では、地域おこし協力隊と年間通じて連携し、ユーザーインタビューを繰り返して、ビジネスプランコンテストへの入賞を目指す。『起業探究Ⅰ』では前年度の良さを取り入れるとともに、「起業マインド」を醸成するため、地域企業と連携し、企業の課題解決策を検討するなど地域企業の魅力発見の場としても活用する。

## 新聞等掲載

### 《新聞記事》

日付	出所	記事タイトル	対象
2021.06.08 (火)	山陰中央新報	邑南の課題 解決したい 矢上高生が企業、団体と語る	総合的な探究の時間
2021.06.13 (日)	山陰中央新報	スイーツ作って売るぞ矢上高生 起業学ぶ サツマイモ6次産業化	学校設定教科「起業探究Ⅰ」
2021.07.16 (金)	山陰中央新報	邑南の食文化 磨き上げて ぐるなび西原氏講演	学校設定教科「起業探究Ⅰ」
2021.10.10 (日)	山陰中央新報	サツマイモ収穫にぎやか	学校設定教科「起業探究Ⅰ」
2021.10.27 (水)	山陰中央新報	神楽と笑いのコラボ 邑南 高校生がイベント 吉本芸人も登場	総合的な探究の時間
2021.11.14 (日)	山陰中央新報	矢上高生にぎわいづくり 出羽の古民家でイベント きょう地元自治会と	総合的な探究の時間
2021.12.02 (木)	山陰中央新報	矢上高生が手作り 商品タグに再生紙 あすからイベントで使用	総合的な探究の時間

### 《テレビ報道》

放送期間	放送区域	番組タイトル	対象
2021.07.18 (水)	NHK	しまねっと NEWS610	学校設定教科「起業探究Ⅰ」
2021.12.21 (火)	NHK	しまねっと NEWS610	総合的な探究の時間
2021.12.23 (木)	NHK	しまねっと NEWS610	放課後活動
2022.01.02 (日)	島根県全県下 BSS 山陰放送	嗚呼懐かしき我が校歌	総合的な探究の時間



令和3年度 島根県立矢上高等学校

文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（地域魅力化型）」活動報告書  
おおなん協育プロジェクト～邑南町総がかり！協働で育む“協育”カリキュラムの開発～

発行日 令和4年3月7日

編集・発行 島根県立矢上高等学校

矢上高校と地域の未来をつくる会（コンソーシアム）

魅力化推進センター

〒696-0198 島根県邑智郡邑南町矢上3921

TEL 0855-95-1105（代表）

FAX 0855-95-1995

印刷 社会福祉法人わかば会 邑智園